

花と新緑の神戸探訪

緑の別天地、 “西六甲”に遊ぶ。

阪神高速道路沿線の街に息づく、

さまざまな文化や暮らしをご紹介します『どらいぶらり』。

今回は、神戸の市街地のすぐ後方に広がる緑あふれる西六甲を訪ね、
その魅力をお伝えします。

瀬戸内海国立公園六甲地区に指定され、市民の憩いの場であるとともに、
みなと神戸のランドマークとして外国船にも広く親しまれた西六甲。

地元の方はもとより関西人にもなじみのエリアですが、
まだまだ知らない見どころがいっぱいです。

そこで、山わらう新緑の季節、「神戸市立森林植物園」を中心に、
ご家族みんなで出かけられるスポットや情報をご紹介します。

次の休日には、ぜひ西六甲の豊かな自然の中で
心と体の深呼吸をお楽しみください。



都会のそばの 自然の

神戸市立森林植物園

神戸市立森林植物園は、今から75年前に市民が四季の自然を感じられる「都市公園」として計画されました。神戸の市街地から直線距離にして約6キロという都会のすぐそばに広がるわが国屈指の樹木植物園。思い立ったらすぐに出かけて、季節の草花や野鳥のさえずりを楽しみ、なかなか目にするのできない蝶々や昆虫を観察できる。とても贅沢な空間がそこに広がっています。



1. 森林展示館／館内に入ると世界一の巨木 ジャイアントセコイアの輪切り（樹齢約2千年）に圧倒されます。2. 森林展示館／山小屋を思わせる落ち着いた雰囲気展示館は来園者のための情報拠点です。3. 野鳥のストラップ／ル・ピックで買える野鳥工房みぞさんの手作りストラップはコレクターもいるほどの人気商品です。4. 森のカフェ&雑貨 ル・ピック／ハイカーにも人気のひよこ豆のスパイスカレー。弓削牧場の完熟カマンベールが隠し味。5. ちびっこ広場／木製遊具を使って遊んだり、芝生を元気いっぱい走ったり、自然の中で思い切り楽しめます。



クルマを降りると 森の香りがいっぱい

園内の駐車場にクルマを停めてドアを開けると、そこはもう大自然の中。この季節ならではの心地よい森の息吹に包まれます。

駐車場から南に歩くと、セコイアの林の中にビクターセンターとなるロッジ風の「森林展示館」が見えてきます。まずはここで、いまの季節に楽しめる花や野鳥の種類、六甲山地の自然の特色などをチェックして森に入ると、自然との出会いや感動がさらに広がります。2階の特別展示ホールでは、六甲山地で見られる植物や生き物に関する展示が行われ、大人だけでなく、お子さまの夏休みの自由研究にも人気です。

楽しみ方もいろいろ 自然の中の憩いの空間

広い園内には六甲の樹木はもとより、外国の自然を再現した「世界の森」があり、ゆつくりと散策することができます。これからの季節はなんといっても「つつじ・しゃくなげ園」、さらに6月には日本一ともいわれる「あじさい園」が見頃となります。

広大な敷地に整備された遊歩道は主なコースだけでも6キロメートルを超え、園内ハイキングが楽しめます。さらにメインの遊歩道は段差がなく、お子さまや車イスの方も安心して散策を楽しめるのも嬉しいポイントです。

園内北側には、広々とした大芝生の「多目的広場」やお子さまに人気の遊具を備えた「ぼうけんの丘」、野球やサッカーにも利用できる「スポーツ広場」などスポーツ・レクリエーションゾーンが充実。芝生の上で家族でお弁当を広げたり、春の日差しの中でのんびり過ごすのも、もうひとつの楽しみ方です。

また、森林展示館の隣には「森のカフェ&雑貨ル・ピック」があって美味しい食事や買い物も楽しめます。森林植物園限定の弓削牧場特製ミルクソフトクリームは大人気で長蛇の列ができるほど。



3月～12月中旬だけ販売されるル・ピックのオリジナルソフト。牧場の牛乳を使った自然な甘さが人気です。

創設75周年!

神戸市立森林植物園

昭和15年(1940)に紀元2600年記念事業として起工し、昭和32年(1957)に開園した全国でも類を見ない樹木植物園。造成にあたっては、明治中頃まで荒廃してはげ山だった六甲山地に木を植え、水害を防ぐとともに、市民に自然をより身近に感じて欲しいという先人の熱い思いがありました。現在、植物園の広さは142.6ha。広大な芝生の多目的広場も整備され、さまざまな自然の楽しみ方ができる植物園です。



ガイドボランティアさんとめぐる 新緑の森林植物園

森林植物園では、ガイドボランティア「メタセコイアの会」のメンバー約30人が、
来園者のために四季折々の見どころを案内しています。
今回は、栃尾憲雄さんに新緑の植物園をガイドしていただきました。

アオゲラ／日本固有種の
キツツキ。森林植物園の
マスコットにもなっている。



MAP



カタクリ
昔は茎から取ったデンプンを
片栗粉にしていたんだって。
見頃／3月～4月

いくつ花を
見つけれられるかな



生きようとする樹木の
たくましさを見てもらうため、
不格好な枝もあえて
切らないことも。
そんな自然の姿にも
注目してください。

技術職員
岡本佳菜子さん



(上) 森の散策道／メインの
遊歩道から一歩入ると季節の
花や樹木の中を歩く散策道が
続きます。ハイキング気分で
歩くのも楽しそう。(中) 里山
の森／かつて里山の針葉樹
林の下に咲いていた小さな草
花を集めた一角。里山の景
色が甦ります。(下) ガイドボ
ランティア／植物園に詳しい
ボランティアの方々が親切丁
寧に案内してくれます。



オキナグサ
白い綿毛がおじいちゃん
のヒゲみたいだからオキナグサ。
見頃／4月～5月



ルリビタキ／全身が鮮や
かな青色をしているのは
オス。植物園内の至る
所で見る事ができる。



アズマシャクナゲ
シャクナゲの中でも
いちばん最初に開花するんだって。
見頃／5月～6月



ヒカゲツツジ
珍しい黄色のツツジ。
日陰でなくても咲くんだよ。
見頃／4月～5月



コバノミツバツツジ
葉っぱよりも
先に花を咲かすんだって！
見頃／4月～5月



(上) 長谷池／水中の植物が池のほとりに根を伸ばす珍しい呼吸根やいろんな水辺の
生き物を見ることが出来ます。(下) つつじ・しゃくなげ園／32種のツツジ、7種のシャ
クナゲが咲き競うゾーン。鮮やかな花々に魅せられます。

散策シーズンは毎週土日、 ガイドボランティアさんが待ってます！

「新緑つつじ・しゃくなげ散策」と「森の中のあじさい散策」の期間中の土
曜・日曜・祝日はガイドボランティアによる散策会が開催されます。植物に
関する耳寄りな情報を聞きながら森の中を楽しく散策しましょう。また、散策
期間以外も日曜・祝日はガイドボランティアの案内をご利用いただけます。

「新緑 つつじ・しゃくなげ散策」4/18(土)～5/17(日)
散策会(土・日・祝)／1回目 10:30～ 2回目 13:30～
「森の中のあじさい散策」6/13(土)～7/12(日)
期間中は毎日8:00開園、土・日は18:00まで延長開園
散策会(土・日)／1回目 10:30～ 2回目 13:30～



カタクリの咲く かつての里山の景色を歩く

栃尾さんが、まず最初に案内してくれ
たのは、日本の原風景ともいえる春の里
山の景色を再現したコーナーです。森林
展示館のすぐ裏にある手入れの行き届い
た空間にカタクリやオキナグサ、イチリ
ンソウなどが可憐に咲きます。かつての
里山の木々は落葉樹が中心だったために
冬になると葉が落ち、太陽の光が地面に
まで降り注ぐため、日本らしい小さな草
花が咲き、春を謳歌していました。しか
し、常緑樹が増えた今日では、これらの
植物は希少な存在となっています。



園内をガイドして下さった
「メタセコイアの会」 栃尾憲雄さん

鮮やかに咲き競う 自慢のつつじ・しゃくなげ園へ

これからの季節、見逃せないのは39種
におよぶ色とりどりの花が咲くつつじ・
しゃくなげ園です。六甲山地の自生種コ
バノミツバツツジをはじめ、珍しい白い

ヒカゲツツジ。そして、アズマシャクナ
ゲ、ホソバシャクナゲの順に季節を追
いながら咲くシャクナゲの群生は、まさに
森林植物園ならではの見どころです。さ
らに6月からは六甲山地を代表する5万
株のアジサイが来園者を魅了します。

doraiburari 7



マルシェ／地元の新鮮な野菜や果物、兵庫県内の海産物が見えるとあって大人気。開店と同時にお客さんが殺到するので売り切れにご用心。

「しあわせはちみつ」がおすすめですよ。

しあわせの村は、健康と福祉を市民に広く享受してもらうために神戸市が設立した施設です。敷地内には温泉健康センターをはじめ、宿泊施設やキャンプ場、運動広場、芝生広場、乗馬体験ができる馬事公苑などが整備されています。

なかでも毎朝、近隣の農家から運ばれてくる野菜や果物を販売するしあわせマルシェが大人気。西区名産の神戸フルーツをはじめ、黒丸大根、カラフル人参など珍しい野菜や園内の養蜂施設で作った

ジャングル温泉やオートキャンプも 楽しめる「しあわせの村」



(右) 地元の新鮮野菜／料理に映えるカラフル人参や黒丸大根など、他ではあまりお目にかかれない珍しい新鮮野菜が売れ筋。(左) ジャングル温泉／熱帯植物が茂り、南国気分が10種類の温泉が楽しめます。



しあわせはちみつ／敷地内の養蜂施設でとれた上質の蜂蜜。お試しサイズもあって便利です。

弓削牧場

INFORMATION

〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上西丸山5-2 (MAPはP7を参照)
☎078-581-3220
営業時間／11:00～17:00(土・日・祝は18:00まで)
(15:00～カフェタイム)
④水曜(1、2月は火・水)
駐車場／無料
アクセス／阪神高速7号北神戸線からは「箕谷」出口を左折、32号新神戸トンネルからは左折し、「皆森」交差点を左折して県道15号を直進。「芝床」交差点を右折、一つ目の信号を左折し、突き当たりを右折、一つ目の信号を左折。



他では味わえない、弓削牧場自家製チーズを存分に堪能できるフルコース。



しあわせの村

INFORMATION

〒651-1102 神戸市北区山田町下谷上字中一里山14-1
☎078-743-8000
④なし
入園料／無料(ただし、各施設利用料別途)
駐車場／1日500円
アクセス／阪神高速7号北神戸線「しあわせの村」出口から直結

地場野菜・鮮魚直売所「しあわせマルシェ」

営業時間／10:00～17:00(売り切れ次第終了)

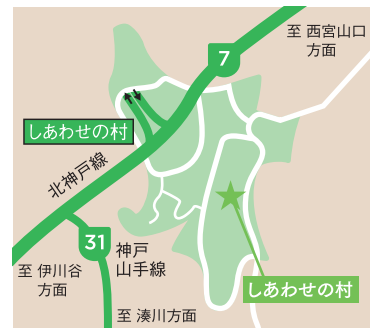
ジャングル温泉

営業時間／10:00～22:00(最終受付は21:00)

料金／大人800円、中学生以下400円



MAP



ヤルゴイの各種チーズ／カマンベール、フロマージュ・フレなどのチーズを日本人の味覚に合った食べ方で楽しむことができます。

西六甲ならではの！ こだわりの立ち寄りスポット

西六甲をめぐるなら、神戸らしいこだわりのグルメやお土産ははずせません。

昭和18年(1943)から酪農業をスタートした弓削牧場。日本のチーズ作りのパイオニアとして昭和60年(1985)にカマンベールチーズ、フロマージュ・フレ(生チーズ)の製造販売を開始。またたく間に高級スーパーや百貨店の高い評価を得て、今日では一流ホテルのレストランでも提供されています。

森林植物園からほど近い弓削牧場では約50頭の牛が放牧され、牧場の一角にはログハウス風の農家レストラン「ヤルゴイ」があります。

ここでは場内で育てた新鮮な野菜やハーブを使った創作チーズ料理がいただけます。さらに、すぐ横の菓子工房で作



直売コーナー／チーズと並び人気の高いシフォンケーキやジャムなど、国内外からセレクトした食品や調味料が並びます。

関西の食通もうなるチーズの名門 「弓削牧場」でランチ&カフェ！



(右) カマンベールの上面を切り取り、丸ごと温めていただくチーズフォンデュ。ご家庭でもおすすめです。(左上) チーズ作りの副産物ホエー(乳清)を使ったお肌にやさしい石けん。(左下) ずらり並んだ弓削牧場の人気のお土産。

った人気のフロマージュ・シフォンケーキや季節の絶品スイーツも見逃せません。各種乳製品やホエー(乳清)から作ったソーブなど、充実のお土産品に時の経つのも忘れてしまいそう。

